

## 小金井市公民館運営審議会

## 意見・提案シート

6月18日に開かれた公民館運営審議会を傍聴しました。私は市民活動のために、公民館を月3,4回程度利用しますが、公民館有料化の話が出ていることを全く知らなかったからです。驚いてその審議内容を知りたいと思い、初めて傍聴しました。

私は、公民館有料化には反対です。それは、提言(案)の中にも書かれているように、公民館は「つどい、学び、つながる、地域の拠点」であるからです。私自身は、この中で「つどい学ぶ」と「つどいつながる」活動を定期的に行っています。これは、公民館の使用料が無料だからできることです。

さらに提言(案)では、「中高生の居場所づくり、働き世代の利用促進、周知方法の工夫、多世代交流の場としての機能などに重点的に取り組み、公民館の活性化を進める」としていますが、中高生や若い働き世代は、今、経済的に厳しい状況に置かれていることは、よく知られていることです。中高生や若い人たちがSNSばかりに頼らず、公民館を利用して実際に出会い活発に交流することは、今後の小金井市を人と人がつながる街にするために、必要なことだと思います。ところが、それを促すためには、公民館有料化は逆効果になることが容易に想像できます。

第37期の公民館運営審議会は、「公民館の有料化の検討」がテーマで、6月18日の審議会当日も有料化を前提として議論がされていました。しかし、今回の資料を読むと、以下の理由により有料化が得策とはとても思えません。

**理由1 無料の団体と有料の団体を分けることは難しい**

資料5では、NPO法人、会費の有無など、無料団体のための条件を挙げていますが、収益を上げることが目的の団体であってもこのような条件をクリアすることはそれほど難しいことではないと思います。この点は、法律家か税理士など専門家の意見が必要ではないかと思います。私はかつて東公民館でバレエ教室が開かれている光景を何度か見ました。月謝のやり取りは建物の外でされているようでした。その後、バレエ教室は東公民館にはなくなったようですが、月謝を銀行振り込みにして、団体名や規約を公益性のあるもの(例:クラシックバレエの普及活動)に変えれば利用はできたかもしれません。各団体について、そこまで調べ判断することを、誰がどのような方法でやるのでしょうか。その点、有料化している他市ではどうしているのか調査結果がないのも疑問です。

**理由2 使用料を取ることでむしろ公民館の経済的な負担が増える**

今回の審議会で使用料の収納方法について、時間をかけて審議されていました。しかし、ボタン券売機であっても、導入コストが130万以上、それに加えて消耗品費がかかるとのこと。どれくらいの使用料を取れば採算が合うのでしょうか。その試算さえされていません。これでは使用料を取ることで税金の無駄遣いになる可能性が高いように見えます。第36期からの申し送り事項の中に、「使用料見込み額が年間数万円程度」との試算があるとのこと、これも無視できません。

**理由3 公益性の高い団体が優先的に利用できるのか疑問**

私が属する団体では、公民館の予約が取れないときは、上之原会館(集会施設)を利用することがあります。しかし、上之原会館は有料で営利団体も利用することができるため、土日は予約で埋まっていることが多く、ここも取れないことがあります。そこで疑問に思うのは、営利団体と公益的な団体との予約を同時に受け付けるのは、問題があるということです。これが特に公民館であれば、公益的な団体の利用が優先されるべきですが、その点は考慮されるのでしょうか。ちなみに、上之原会館の場合、一般団体は1時間100円、営利目的団体は1時間200円です。こんな値段であれば、営利目的の方々も使いやすいから予約が埋まってしまうのだろうといつも思います。

小金井市内には、たくさんの市民団体があります。それが市民力の強さにつながっていると思います。こうした市民団体が今後も新しく生まれ活発な活動ができるように、「公民館は無料」という原則を変えないでいただきたいと思います。

以上のことから、公民館有料化が検討されていることをまずできるだけ早く広く市民に伝え、公民館利用団体はもちろん、幅広い市民の意見を聞く場を設けてください。よろしくお願いいたします。

提出日      2025 年    6 月   20 日

氏名          可知（かち） めぐみ